

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農産物安全課
 担当名：有機・安全生産担当
 内線：4049

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B15	埼玉スマートGAP推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	なし			戦略項目	08 埼玉農業の競争力強化		
						分野施策	010404 食の安全・安心の確保		
1 事業の概要 県産農産物の安全に対する信頼性の向上を図るため、県独自のGAP(S-GAP)の普及推進を行い、担い手の拡大を推進する。 事業費の節減による減額 (1) S-GAP普及事業 △352千円 (3) S-GAP評価事業 △172千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア S-GAP普及事業 4,484千円 S-GAP普及のため、指導者を養成し、農業者への普及推進及び支援を図る。 (ア) S-GAP指導者の養成し、S-GAP指導者による農場指導 (イ) 地区説明会の開催 (ウ) 生産履歴管理システムの導入 イ S-GAPアップデート事業 1,707千円 S-GAP仕様の改訂を行う。 (ア) S-GAP検討委員会の開催(計1回、委員10名) (イ) S-GAP実務者会議の開催(計4回) ウ S-GAP評価事業 10,979千円 S-GAP評価制度の導入し、S-GAP実践農場を認証する。 (ア) S-GAP評価制度の導入準備と評価員の養成 (イ) S-GAP評価支援システムを導入し、S-GAP評価員による農場評価 GLOBALG.A.P. 認証取得支援 (2) 事業計画 S-GAPの普及、S-GAPの仕様改訂、S-GAP評価及び実践農場認証 【目標】平成28年～平成32年の5年間で1,600戸の農場認証を行う。 (3) 事業効果 GAP普及率が上昇することにより、県産農産物の安全性が向上する。 県産農産物のイメージ向上が消費者へのPRとなり、生産者がGAPに取り組むメリットとなる。 (4) 補正予算の概要 (1) S-GAP普及事業：事務費の節減による需要費及び役務費の減額 (3) S-GAP評価事業：事務費の節減による旅費及び需要費の減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人=24,700千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△524	諸収入						△524	16,396
現計額	16,920	3						16,917	